

## 生徒の学習状況についての実態および定期考査等を含む 学力調査の結果等を踏まえた内容別・観点別の分析表

### 【英語】

#### 〈学習状況についての実態〉

- ・落ち着いて授業に臨む生徒が多く、音読練習・ペアワーク・ALTとの活動など声を出す取り組みも活発に行うことができる。
- ・一つ一つの文法事項を理解しながらも、既習事項が整理されておらず、英文作成の際に苦手意識をもつ生徒が多い。
- ・ペア・グループワークなど、教え合う場面や既習事項を繰り返し学ぶ機会を作ることによって、理解の定着を図っている。

#### 〈区学力調査の分析〉

- ・単元毎の練習段階ではミスが少ないが、総合的な問題になると細かいミスが出てくる。  
〔内容の分析〕時制の問題や三単現のSなど、1，2年生の内容で抜けている部分がある。3文以上の英作文を作る問題では簡単な英文で自分の意見・考えを正しい文法で述べることを苦手としているようである。

#### 〈都学力調査の分析〉

- ・自己紹介のような発表活動では話すことができるが、文章になるとミスが目立つ。  
〔内容の分析〕授業でスピーチなどを暗記することは得意であるが、今回のテストで質問の答え方となると正確さに欠ける。自己紹介では、be動詞と一般動詞が混在した形で書いてしまうなどのミスが目立った。

#### 〈今後の課題〉

- ・授業では「話す・聞く活動」が多いが、家庭学習で、単語や英文練習など書く取り組みを促す必要がある。
- ・単元終了後などにまとめの時間を取り、文法事項を整理する機会を作る。
- ・英作文を難しく感じているようなので、自分の意見・考えを簡単な英語で表現する機会を作る。単元のまとめとして自分の意見を書くといった時間を作る。
- ・一方的に話すスピーチなどは得意とするが質疑応答となると苦手な生徒が多いので、ペア活動などを通してQ and Aを行う必要がある。